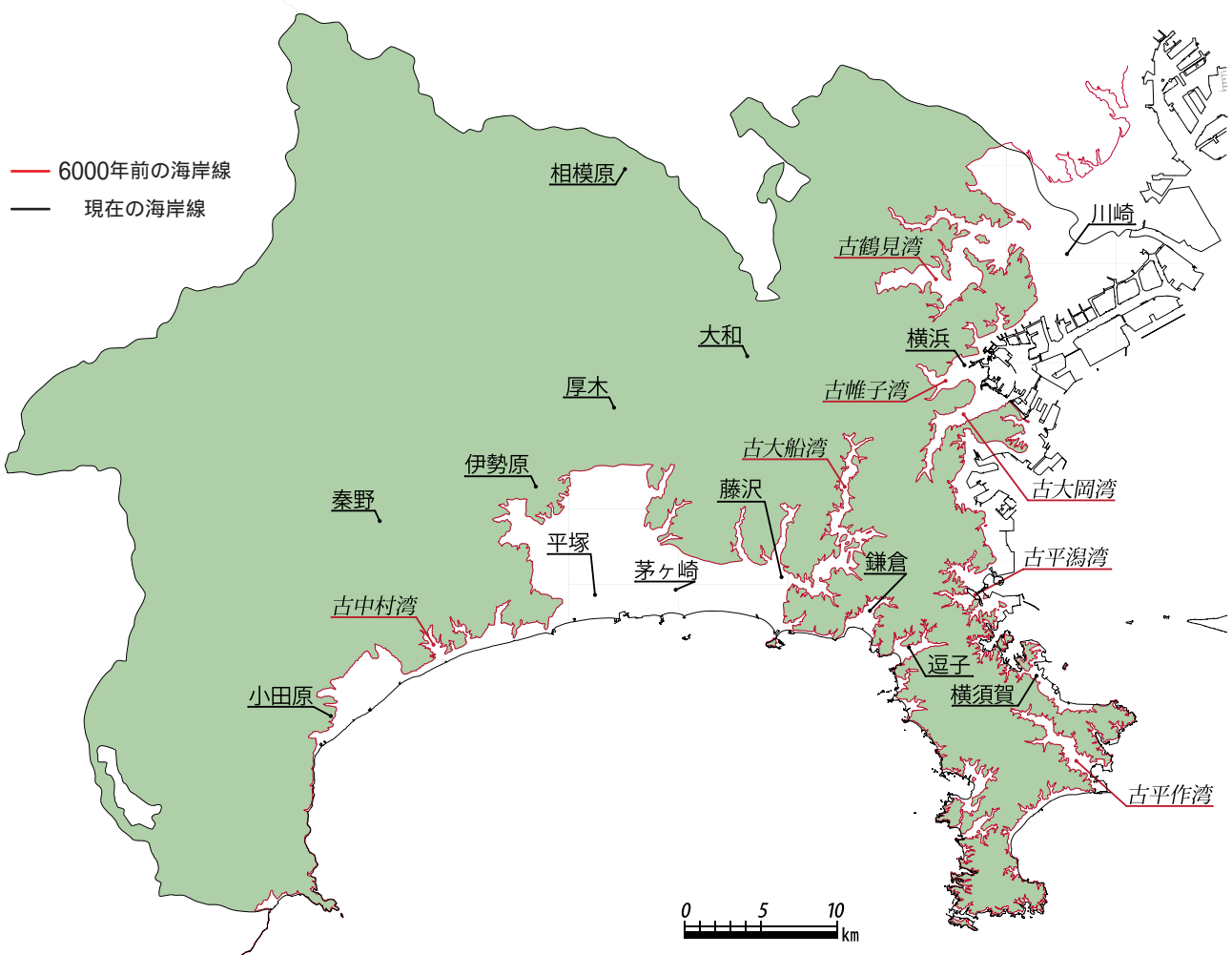


縄文の海は、広がった！



6000 年前の神奈川の大地

これは神奈川県地図です。緑色の部分が陸地です。何か変な感じがしませんか？これは今からおよそ 6000 年前の神奈川県なのです。赤い線が当時の海岸線です。今の海岸線を黒い線で示しているの、見比べてください。ずいぶん形が違っていませんか。なんだか狭いです。海が奥まで入り込んでいるのがわかりますか。自分の家を探してみましよう。陸の上にありますか？ それとも水没していますか？

他にも知っている場所を見てください。どのような場所が水没しているのでしょうか？

県東部の横浜や三浦半島の周辺には、細長い入り江が多くあることに、気がつきませんでしたか？ この場所は今、どうなっているでしょう？

海面が上下する！
海面が低かった時代は気温が低く、海面が高かった時代は気温が高いことが分かっています。これは地球全体で起きている現象です。一定の周期で繰り返しているようです。

どうやって調べるの？

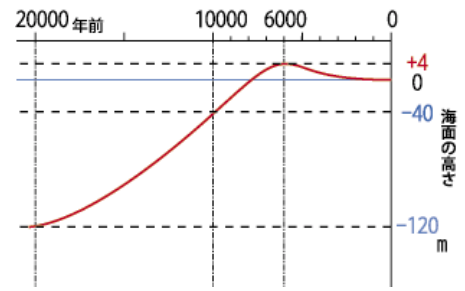
海面の変化は、地面の下に記録が残されています。地層や化石の種類や埋まり方を丹念に調べていきます。

「海退」

海進とは逆に、海が退き、陸地が広がることを海退といいます。

動く大海岸線！

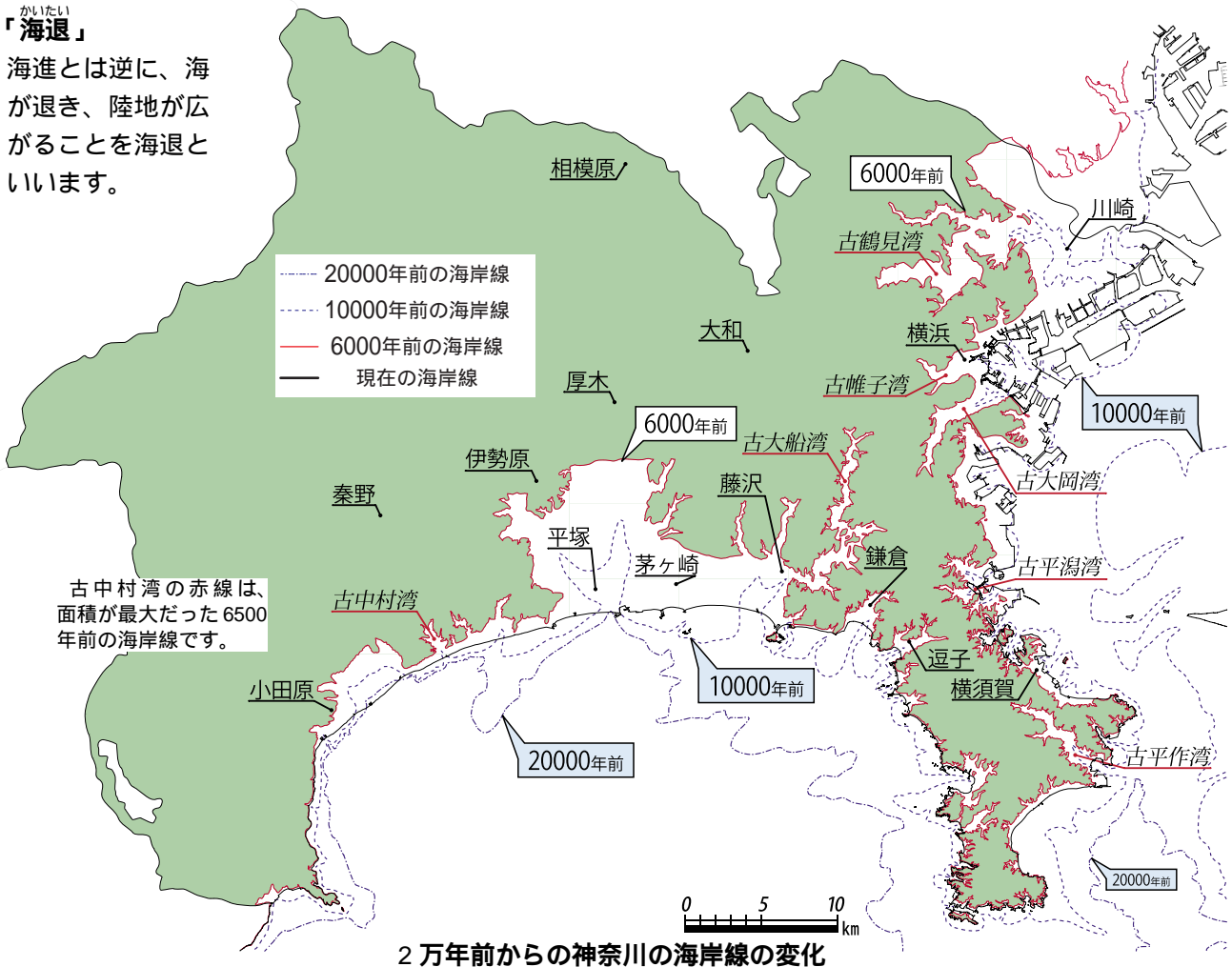
6000年より前の神奈川県はどうだったのでしょうか。下に2万年前からの変化の図があります。およそ2万年前は陸が広がったことが分かっています。水深120mぐらいのところまで陸だったと考えられています。ここから、時間が進むと海面が高くなり、およそ6000年前には標高4m前後まで海になります。さらに5000年前からは海面が下がりはじめ今に至ります。これをモデルにしたのが右の図です。この海面の高くなっていく様子が、海が陸のほうへ進んでいくので「海進」、特にこの縄文時代の海進を「縄文海進」と呼んでいます。



海面の高さの変化モデル図

入り江の秘密

6000年前の海岸線で入り江になっているところでは、1万年前の海岸線を見てください。やはり入り江になっています。これは、大地が古い時代から削られ続けていたことを示しています。現在、これらの場所は奥深い谷になっています。



2万年前からの神奈川の海岸線の変化